



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場会社名 日本ペイントホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4612 URL <http://www.nipponpaint-holdings.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田堂 哲志
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 花岡 泰史 (TEL) 06-6455-9141
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	405,104	111.8	52,599	119.2	55,451	55.5	23,748	△86.3
27年3月期第3四半期	191,254	△0.5	23,992	△2.5	35,653	△0.8	173,088	601.6

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 22,000百万円(△87.7%) 27年3月期第3四半期 179,013百万円(338.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	74.05	74.05
27年3月期第3四半期	648.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	802,551	576,384	58.7
27年3月期	810,727	589,923	59.2

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 471,234百万円 27年3月期 479,829百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
28年3月期	—	15.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	530,000	103.4	70,000	107.4	73,000	48.2	32,000	△82.4	99.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	325,402,443株	27年3月期	325,402,443株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	4,696,181株	27年3月期	4,694,319株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	320,707,085株	27年3月期3Q	266,717,938株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は別途実施しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、前年度のアジア地域の合弁会社の持分取得（子会社化）に伴い、連結売上高は4,051億4百万円（前年同期比111.8%増）となりました。連結営業利益は、合弁会社の持分取得の影響と、それに伴うのれんおよび無形固定資産の償却費用を販売管理費に計上したことなどから525億99百万円（前年同期比119.2%増）、連結経常利益は554億51百万円（前年同期比55.5%増）となりました。また、前年同期に上記子会社化に伴い特別利益として段階取得に係る差益1,488億円を計上したこともあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は237億48百万円と前年同期比86.3%減となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。なお、海外の事業会社においては一部を除いて12月期決算を採用しており、当第3四半期連結累計期間の対象期間は2015年1月から9月となります。

《日本》

当地域では、自動車生産台数が減少するなか、シェア拡大に努めた結果、自動車用塗料の売上高は前年同期並となりました。工業用塗料については、市況の低迷に伴い建築資材や建設機械向け塗料の出荷が減少したことなどから、売上高は前年同期を下回りました。汎用塗料の売上高は、市況が低調に推移するなか、新商品の拡販を含め販売促進活動に努めた結果、前年同期を上回りました。

これらにより、当地域セグメントの連結売上高は1,305億94百万円（前年同期比5.3%減）となりました。また、連結営業利益には、2014年10月1日から持株会社に移行したことに伴い、海外グループ会社からの受取配当金（164億44百万円）を計上していることや、継続的な原価低減活動により、連結営業利益は377億33百万円（前年同期比94.7%増）となりました。

なお、この受取配当金は内部取引として全額「セグメント間取引消去その他の調整額」として消去されます。

《アジア》

当地域では、前年度のアジア地域の合弁会社の持分取得（子会社化）に伴い売上高・営業利益が大幅に増加しました。特に、アジアセグメントの中核地域である中国において、住宅内装用塗料などの汎用塗料の売上高が順調に推移しました。一方で、子会社化に伴い、持分法投資利益は減少しました。

これらにより、当地域セグメントの連結売上高は2,423億49百万円（前年同期比651.9%増）となり、連結営業利益は276億30百万円（前年同期比747.4%増）、持分法投資利益は7億92百万円（前年同期比92.1%減）となりました。

《北米》

当地域では、自動車生産台数が増加したことなどから、売上高は増加しました。また、ドル高（円安）による日本からの輸入原材料費の低下を含め、継続的な原価低減活動により、収益性が大幅に改善しました。

その結果、当地域セグメントの連結売上高は245億58百万円（前年同期比33.5%増）に、連結営業利益は37億90百万円（前年同期比104.6%増）となりました。

《その他》

当地域セグメントの連結売上高は、ドイツの塗料メーカーを連結子会社化したことに伴い76億2百万円（前年同期比175.6%増）となりました。連結営業損益はのれんの償却負担増もあり1億50百万円の損失（前年同期は72百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比較して81.8億円減少し、8,025億51百万円となりました。そのうち、流動資産につきましては、前連結会計年度末と比較して214.6億円増加しておりますが、主な要因は、アジア地域における塗料売上高が好調に推移し、売上債権が増加したことによるものです。

固定資産につきましては、前連結会計年度末と比較して296.3億円減少しておりますが、主な要因は、企業結合に関する会計基準等の適用および償却に伴うのれんの減少によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して53.6億円増加し、2,261億66百万円となりましたが、主な要因は、仕入債務や借入金が増加したことによるものです。

非支配株主持分を含めた純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して135.4億円減少し、5,763億84百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加した一方で、企業結合に関する会計基準等の適用や円高により、資本剰余金や為替換算調整勘定が減少したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の59.2%から58.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年11月6日発表の通期業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及
び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」とい
う。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動によ
る差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に
変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理
の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映さ
せる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示
の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度につ
いては、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(3)、連結会計基準第44-5項(3)及
び事業分離等会計基準第57-4項(3)に定める経過的な取扱いに従っており、過去の期間のすべてに新たな会計
方針を遡及適用した場合の第1四半期連結会計期間の期首時点の累積的影響額を資本剰余金及び利益剰余金に加減
しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首において、のれん11,753百万円及び資本剰余金14,886百万円が減少す
るとともに、利益剰余金が3,008百万円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益が780百万
円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ790百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	89,007	85,062
受取手形及び売掛金	136,694	165,725
有価証券	43,752	36,866
たな卸資産	53,279	54,683
繰延税金資産	7,218	6,829
その他	14,962	18,000
貸倒引当金	△3,179	△3,976
流動資産合計	341,736	363,192
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	43,570	42,515
その他（純額）	57,360	61,627
有形固定資産合計	100,930	104,143
無形固定資産		
のれん	210,538	186,409
商標権	54,017	50,087
その他	53,518	50,782
無形固定資産合計	318,073	287,279
投資その他の資産		
投資有価証券	47,284	44,450
繰延税金資産	917	945
その他	1,958	2,749
貸倒引当金	△174	△209
投資その他の資産合計	49,987	47,936
固定資産合計	468,991	439,359
資産合計	810,727	802,551

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	82,272	83,944
電子記録債務	11,456	12,888
短期借入金	11,109	18,902
未払法人税等	9,931	7,549
その他	52,208	51,322
流動負債合計	166,977	174,607
固定負債		
長期借入金	2,612	1,511
繰延税金負債	27,404	25,697
役員退職慰労引当金	172	120
環境対策引当金	304	334
退職給付に係る負債	16,763	15,567
その他	6,568	8,326
固定負債合計	53,826	51,559
負債合計	220,804	226,166
純資産の部		
株主資本		
資本金	78,862	78,862
資本剰余金	78,338	63,451
利益剰余金	314,743	332,842
自己株式	△6,432	△6,438
株主資本合計	465,513	468,718
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,218	11,470
繰延ヘッジ損益	13	4
為替換算調整勘定	4,307	△6,986
退職給付に係る調整累計額	△2,224	△1,973
その他の包括利益累計額合計	14,316	2,515
新株予約権	—	26
非支配株主持分	110,094	105,124
純資産合計	589,923	576,384
負債純資産合計	810,727	802,551

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	191,254	405,104
売上原価	122,774	237,478
売上総利益	68,479	167,626
販売費及び一般管理費	44,486	115,026
営業利益	23,992	52,599
営業外収益		
受取利息	97	750
受取配当金	842	801
持分法による投資利益	9,967	645
為替差益	1,792	—
有価証券運用益	—	912
その他	821	1,638
営業外収益合計	13,521	4,748
営業外費用		
支払利息	135	289
為替差損	—	419
その他	1,725	1,187
営業外費用合計	1,860	1,896
経常利益	35,653	55,451
特別利益		
固定資産売却益	19	19
事業譲渡益	—	250
段階取得に係る差益	148,800	—
その他	0	18
特別利益合計	148,820	287
特別損失		
固定資産除売却損	106	204
その他	47	16
特別損失合計	154	220
税金等調整前四半期純利益	184,319	55,519
法人税等	9,360	16,763
四半期純利益	174,958	38,755
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,870	15,006
親会社株主に帰属する四半期純利益	173,088	23,748

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	174,958	38,755
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,900	△764
繰延ヘッジ損益	21	△14
為替換算調整勘定	5,978	△15,705
退職給付に係る調整額	632	216
持分法適用会社に対する持分相当額	△6,478	△485
その他の包括利益合計	4,054	△16,754
四半期包括利益	179,013	22,000
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	174,654	11,948
非支配株主に係る四半期包括利益	4,359	10,052

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

当社は、平成26年12月5日付で、NIPSEA INTERNATIONAL LIMITED から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結会計期間において資本金が51,150百万円、資本準備金が51,150百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が78,862百万円、資本剰余金が78,338百万円となっております。

また、当第3四半期連結会計期間において、当社とWUTHELAM HOLDINGS LTD. との間の合弁会社8社の持分をWUTHELAM HOLDINGS LTD. より追加取得し、当該8社及び、これらの子会社38社を連結の範囲に含めたことに伴い、段階取得に係る差益を計上し、利益剰余金が148,800百万円増加しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

第1四半期連結会計期間より、企業結合会計基準等を適用しております。これに伴う影響については、「会計方針の変更」に記載しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) (百万円)	合計 (百万円)
	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	137,874	32,232	18,389	188,496	2,758	191,254
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,083	3,002	104	13,190	805	13,996
計	147,958	35,234	18,494	201,687	3,563	205,250
セグメント利益	19,376	3,260	1,852	24,489	72	24,562
持分法投資利益又は損失(△)	—	10,040	—	10,040	△73	9,967

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第3四半期連結会計期間において、中国・マレーシア・シンガポールに所在する当社とWUTHELM HOLDINGS LTD. との間の合弁会社8社の持分を追加取得し、当該会社を連結の範囲に含めるとともにそれらの子会社38社を連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「アジア」セグメントの資産が453,685百万円増加しております。

(第三者割当増資による資産の著しい増加)

当第3四半期連結会計期間において、第三者割当増資により資本金および資本準備金がそれぞれ51,150百万円増加したことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「日本」セグメントの資産が102,300百万円増加しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	24,489
「その他」の区分の利益	72
セグメント間取引消去その他の調整額	△569
四半期連結損益計算書の営業利益	23,992

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「アジア」セグメントにおいて当社とWUTHELM HOLDINGS LTD. との間の合弁会社8社の持分をWUTHELM HOLDINGS LTD. より追加取得し、当該8社及び、これらの子会社38社を連結の範囲に含めました。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、235,793百万円であります。

5. 製品及びサービスに関する情報

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年同期比(%)
塗料	179,614	△1.0
自動車用	68,053	△1.4
汎用	35,300	△5.9
工業用	35,005	△1.8
その他塗料	41,254	4.9
ファインケミカル	11,639	7.8
合計	191,254	△0.5

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) (百万円)	合計 (百万円)
	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	130,594	242,349	24,558	397,502	7,602	405,104
セグメント間の内部売上高 又は振替高	32,456	4,001	161	36,619	845	37,464
計	163,050	246,350	24,720	434,121	8,447	442,568
セグメント利益又は損失(△)	37,733	27,630	3,790	69,154	△150	69,003
持分法投資利益又は損失(△)	△0	792	—	791	△146	645

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	69,154
「その他」の区分の損失(△)	△150
セグメント間取引消去その他の調整額	△16,404
四半期連結損益計算書の営業利益	52,599

(注) 当第3四半期連結累計期間の「セグメント間取引消去その他の調整額」には、セグメント間の受取配当金が含まれております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益は、日本セグメントで730百万円、アジアセグメントで49百万円それぞれ増加しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間より、企業結合会計基準、連結会計基準及び事業分離等会計基準等を適用したことにより、のれんの金額が減少しております。当該事象により、のれんは、第1四半期連結会計期間の期首においては、日本セグメントで10,475百万円、アジアセグメントで1,277百万円それぞれ減少しております。

5. 製品及びサービスに関する情報

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年同期比(%)
塗料	392,340	118.4
自動車用	101,287	48.8
汎用	196,517	456.7
工業用	51,475	47.1
その他塗料	43,060	4.4
ファインケミカル	12,764	9.7
合計	405,104	111.8

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。